

緑 化 通 信

2024
2月25日
(年6回25日発行)
第503号



発行所 一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: https://www.uekior.jp/ E-mail: honbu@uekior.jp
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



環境に配慮するため FSC®森林認証紙を使用しています。

日本植木協会 令和6年度通常総会

1月25日(木) ホテル・メルパルク広島にて

令和6年1月25日(木)、広島市 ホテル・メルパルク広島にて一般社団法人日本植木協会は、令和6年度通常総会を開催した。

【総会前理事会】

通常総会の開会に先立ち、総会運営の確認等を行うため正・副議長予定者との打合せ及び総会前理事会を開催した。

出席者は三役、理事、正・副議長予定者及び事務局。議事は令和6年度通常総会等への対応、役割分担等について打合せを行い、円滑な通常総会の運営を図ることとした。

【通常総会】

開会に先立ち、事務局より定足数の確認が行われ、当日は関西周辺で積雪のため、新幹線が遅延していた。



総会風景

林野庁長官の代読として、森林整備部造林間伐対策室長の石井洋様、国交省都市局公園緑地・景観課長の代読として中国地方整備局建設部都市調整官の吉田純士様に祝辞を頂き、広島市長 松井一實様、広島市議会議長 母谷龍典様、(一社)日本造園建設業協会の会長の代読として副会長 正木 大様からご祝辞を頂き、その後、ご臨席の方々のご紹介をさせて頂いた。

次に(一社)日

本公園緑地協会会長 高梨 啓氏(株瀬戸内園芸センタ 1/愛媛県)、副議長に櫻井 太氏(有櫻井エンターテイメント/島根県)と倉本 政信氏(株柏松園/広島県)が選出され、議事録署名を行った。

【議案審議等】

議長団は、議長に丹下貴征氏(グローバルグリー

ンクニタダ/岡山県)が指名された。

議案審議事項

①第1号議案「令和5年度事業報告」、第2号議案「令和5年度決算及び監査報告」

議長は、第1号議案と第2号議案については関連があるの併せて審議することとし、事務局に説明を求めた。事務局は、議案書に基づき事業報告と決算報告を行った。

議長が、説明を受け議場に諮ったところ、(i)固定資産の実施事業引当金を使う場合は会員への周知を徹底していただきたい、(ii)令和5年度収支は事務所用料等、の収入を除けば、収支均衡ではないか、(iii)カレンダー事業は評判も良く、今後継続してほしいとの意見があった。他には意見がなかった。

議長は、第3号議案と第4号議案については関連があるの併せて審議することとし、事務局に説明を求めた。

議長は、説明を受け議場に諮ったところ、(i)2027年国際園芸博覧会に係る植物調達業務を円滑に進める体制をお願いしたい、(ii)欠員となっている事務局員について、適正な人材を採用していただきたいとの意見があった。他には意見もなく賛成多数で承認された。

議長は、役員改選について事務局に説明を求めた。事務局は、役員が任期満了のため選任しなければならない旨を説明し、役員推薦委員会の鶴飼幸治委員長が下記の次期役員候補者を提案した。

佐久定規会長の挨拶



まずは、1月1日に能登半島地震において犠牲になられた方々、そして避難を余儀なくされている方々に哀悼の意を表します。そして被災地のよりよい復興を祈願致します。

本日はご多忙の中、林野庁造林間伐対策室長 石井洋様、国交省 中国地方整備局建設部都市調整官 吉田純士様、広島市長 松井一實様、広島市議会議長 母谷龍典様、友好団体の皆様方のご臨席を賜り、盛大に総会が開催されることに喜び、感謝申し上げます。

さて、我々を取り巻く環境は、ここ数年著しく変化しています。特に燃料、資材費、肥料など、生産サイドにおいて多大な負担が掛かっているのが実情です。そして今年は、トラック輸送の24年問題を懸念しております。長距離トラック運送に関して、今まで遠方の2、3日が3、4日掛かるというところは、全国規模で植木流通を行っている我々の運送費の高騰が懸念されます。このような諸問題に対して真摯に取り組まなければなりません。

かつて我々協会では、全盛期800人の会員がおりました。今期は400人を切ってスタートすることになります。組織、委員会運営の改革する年だと認識しています。そのような中、協会の存在意義を左右する2027年国際園芸博覧会に因る協会の特別委員会に期待しています。昨年10月に2027年国際園芸博覧会協会から、植物調達パートナーとして認証を頂き、晴れて1月の入札において、入札した9割程が入札出来ました。これも協会内特別委員会の尽力のたまものです。今後来年再来年度と、植木を生産する植木屋という自覚を持って入札に応じたいです。もちろん入札のみでなく、展示会場においても各協会にご協力頂いて大なり小なりと爪痕を残していきたいと思っております。まずは、植木協会がイニシアチブを取って、業界の方だけでなく市民の方々に植木協会を知って頂きたいと願っています。

結びになりますが、本日の総会開催において、ご尽力いただいた中国・四国ブロックの会員の方々、そして、この場の総会にご参加下さっている皆さまが、今日一日、有意義に過ごせ価値のある一日になるよう祈願して私の挨拶といたします。

内閣総理大臣 岸田文雄氏のビデオメッセージ



内閣総理大臣 岸田文雄です。一般社団法人日本植木協会、令和6年度総会が広島で開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、1月1日に発生した最大震度7の能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々の方々に、避難の長期化も懸念される中、被災者の生活となりわいをしっかりと支えるべく全力を尽くしてまいります。ここにお集まりの皆さまにおかれましては被災地の復興復興に向けご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議長は、代表理事を互選するための理事会を開催のため一時休会を宣した。理事会の終了を受け再開を宣言し、理事会の結果についての報告を求めた。理事会の眞鍋議長から、理事の互選により代表理事(会長)に佐久定規氏が就任したことが報告された。



顧問の有村治子
参議院議員



(一社)日本造園建設業協会
副会長 正木 大氏



広島市議会議長
母谷龍典氏



広島市長 松井一寛氏



国土交通省中国地方整備局建政部都市調整官
の吉田純土氏



林野庁森林整備部
造林間伐対策室長の
石井洋氏

④第6号議案 その他
議長は、その他審議すべき事項の有無について諮ったが、意見が無かったことから、議案審議事項が終了したことを宣言して、議長は退任した。

通常総会開催地について、令和7年1月23日(木)東京都において開催すると報告された。

青年部の活動状況について報告がされた。
賛助会員の紹介
総会に参加した賛助会員から、商品等についての紹介があった。
閉会宣言
生駒順副会長が閉会を宣言した。



青年部会会長 福島啓輔氏



左から副議長の倉本政信氏、議長の丹下貴啓氏、副議長の櫻井太氏



賛助会の皆さま



永年勤続者表彰

報告 2027年国際園芸博覧会について



(公社)2027年国際園芸博覧会協会業務執行理事・事務次長の佐藤速水氏

記念講演後に、(公社)2027年国際園芸博覧会協会の業務執行理事・事務次長 佐藤速水氏より2027年に神奈川県横浜市内で開催される国際園芸博覧会について説明が行われました。博覧会は、世界各国から多彩な植物や庭園が展示され、国際的な交流と文化の交流を促進する場として位置付けられ、日本の美しい庭園や伝統的な植木・植物関連技術が紹介されることで、国際的な植物文化交流がさらに促進されることが期待されています。



一般社団法人 日本植木協会会長表彰等

(理事退任)

役職功勞表彰

○高橋 慶治 氏 (有)染谷植物園
○川口 健一 氏 (株)川繁園
○村田 利博 氏 (株)レコムグリーン
○鶴飼 幸治 氏 (有)鶴飼農園
○隅田 盛和 氏 (有)隅田農園
○古賀 晃 氏 (有)大福
○高橋 一男 氏 大塚緑化
○中西 誠 氏 (株)中西園材
○岡部 清 氏
○安瀬 信一 氏 (有)舟引植産
○鶴沢 栄 氏 八街植木
○小畑 勝裕 氏 (有)伸松園
○溝口 勝夫 氏 (株)幽芳園
○杉浦 良二 氏 杉浦ナーセリー
○飯島 裕之 氏 大和園
○古川 泰三 氏 古川庭樹園
○久光 嘉徳 氏 久光農園

(監事退任)

(ブロック長退任)

(支部長退任)

○伊達 有里 氏
○宇津内一之 氏
○堀江 英行 氏
○清原 靖弘 氏

従業員永年勤続表彰

(有)足立農園
(株)柏松園
(株)濱田樹苗園
(株)濱田樹苗園

令和6～7年度 役員一覧

役職	氏 名	社 園 名	県
会 長	佐 久 定 規	(有)千代田緑地	茨 城
副会長	辰 巳 広 之	(株)植広園	兵 庫
	生 駒 順	生駒植木(株)	神奈川
	石 井 新 次	石井農園	神奈川
理 事	眞 鍋 憲太郎	真鍋庭園苗畑	北海道
	大久保 吉 広	(有)猿島ガーデン	茨 城
	栗 原 隆 治	(有)栗原緑地	埼 玉
	石 井 新 次	石井農園	神奈川
	黒 田 晴 彦	(有)美好緑化	愛 知
	橋 本 幸 夫	橋本園芸	愛 知
	小 島 幹 央	(株)京都芳樹園	京 都
	内 山 淳	(株)山都屋	岡 山
	古 賀 尚 樹	愛花夢(株)	福 岡
監 事	西 郷 純 一	西郷農園	鹿児島
	内 田 耕一郎	曼珠苑	東 京
	小 畑 勝 裕	(有)伸松園	静 岡

総会記念講演

講師 植物活動家 四代目 金岡又右衛門 氏

健康な植物(みどり)の力で地球をリ・デザインする

～ネイチャーポジティブの実現に向けた社会課題を解決する
緑化・植栽デザイン『世界の感動を日本に。日本の感性を世界へ』～

総会記念講演は、16時から「健康な植物(みどり)の力で地球をリ・デザインする ～ネイチャーポジティブの実現に向けた社会課題を解決する緑化・植栽デザイン『世界の感動を日本に。日本の感性を世界へ』と題して始まった。

植木・花卉園芸業界として著名な四代目 金岡又右衛門氏の講演を楽しみにしていた会員達は、すぐに金岡氏の魅力ある講演に引き込まれていった。ご自身の強い意志で社会貢献活動にも積極的に取り組む金岡氏の活動や考え方に感銘を受けた。金岡氏は、植木プランターへの情熱と、植物が人々の生活や環境に与えるポジティブな影響について熱く語り、それが社会全体の幸福につながると述べられました。植物への情熱や社会貢献活動への取り組みは、日本植木協会の理念とも一致しており、今後の弊協会・会員の活動に大きな刺激となるでしょう。あっという間の大盛況の講演で終了し、講演後、佐久会長がお礼の言葉を述べ総会記念講演が終了した。



植物活動家四代目
金岡又右衛門氏

プロフィール：バラエングループ代表

植物を通じて社会貢献を行う活動家。植物貿易と管理において、国内外で高い評価を受け、その独創的なアイデアと技術により、多くの人々に愛されており、花卉園芸文化の普及と保護にも積極的に取り組んでいる。



みどりのサバイバルプロジェクト等多くの社会貢献活動にも力を入れている



魅力的な植物たち。世界の感動を日本に。

意見交換会

18時30分から意見交換会が開催され、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会の会長 金清典広氏、（一社）日本公園施設業協会の会長 内田裕郎氏に乾杯のご挨拶を頂いた。ご来賓の方々を含め、145名が参加し、交流を深める貴重な機会となった。



左から（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会の会長 金清典広氏、（一社）日本公園施設業協会の会長 内田裕郎氏

コンテナ部会
令和6年度通常総会

令和6年度コンテナ部会
通常総会は1月26日(金)9時
より、広島市のホテルメル
パルク広島で開催されまし
た。部会員34名の出席を得
て、司会の中村健次幹事の
開会宣言により総会が進行
しました。

先ず、吉澤信行部会長が
挨拶に立ち、資材価格上昇
など業界環境が厳しい中、
より求められる情報の収
集・発信に努め、部会員へ
のフィードバックを強化し
ていきたいと抱負を述べま
した。

次に来賓として、佐久定
規（一社）日本植木協会会
長が挨拶され、協会は
2027年国際園芸博覧会
に向けて英知を結集してお
り、是非コンテナ部会の協
力をお願いしたいと話され
ました。

新しく部会担当となった
黒田晴彦理事は協会との橋
渡し役として、要望があれ
ば是非寄せて頂きたいと語
られました。

【総会議事】
議事に先立ち、司会から
議長選出を出席者に諮った
ところ、「司会者一任」の
声により、岡山県支部の(株)
山都屋の内山淳氏が指名さ
れ、承認されました。続く



佐久定規協会会長



黒田晴彦担当理事



議長の内山 淳氏



抱負を述べる
松村新部会長

次に部会に入会された
そよかぜグリーン(株)の山
崎隆弘氏が抱負を語ら
れ、続いて協力会の方々
が自社商品のピール
を行いました。



広島市植物公園の変わり葉
ゼラニウム43種類

以上13時30分に全
ての行事を終了し、解散
しました。



多くの出席者で埋まった総会

されました。
第3号議案 令和6年度事
業計画(案)
各委員長は事業計画

(案)の注力すべき活動と
して、総務会は（一社）緑
のまちづくり支援機構との
連携による植木情報サイト
を構築する、広報・普及委
員会はソーシャル・ネット
ワーク・サービスの活用、
調査・研究委員会は第2弾
ボタニカル・ジンの製作を
中心とするHANA YAGI
プロジェクトの推進、生
産技術・研修委員会は国内
研修会の実施や勉強会の開
催について説明を行いました。

第4号議案 令和6年度収
支予算(案)
令和6年度収支予算
(案)は、事務局より説明
がなされました。議長は第
3号議案と第4号議案につ
いて出席者に諮ったこと
ろ、意見等はなく、賛成の
拍手で承認されました。

第5号議案 役員選任(案)
令和6年度7年度の役
員候補者氏名について事務
局より説明があり、議長が
採決を諮ったところ満場一
致をもって承認されまし
た。

【令和6年度、令和7年度
役員】
松村幹氏 川村和泉氏
田中晴晃氏 中村健次氏
吉澤信行氏 飯田貴大氏



記念講演 島田有紀子先生

最後に田中副
部会長が閉会の
辞を述べ、総会
は10時に終了し
ました。

【記念講演】
10時15分より
園芸研究家の島
田有紀子氏によ
る記念講演「ゼ
ラニウムの園芸
史」が行われま
した。島田氏は広島市植物
公園で長年勤務された後に
独立され、現在は「NHK
趣味の園芸」出演や多数の
執筆をされる植物研究家だ
す。ペラルゴニウム属やベ
ゴニア属の鉢花や草花一般
に造詣が深く、特に変わり
葉ゼラニウム研究の第一人
者として認められていま
す。

変わりが葉ゼラニウムは葉
の斑模様や形、質感等が特
異的に変化した葉をもつ
品種群であり、明治末期か
ら大正時代に欧米から輸入
され、伝統園芸植物として
扱われて流行しました。特
に大正3年春に新潟県の植
木屋がその葉の美しさに
着目して発表したことによ
り、全国各地で同好会組織
が結成されて銘鑑が作ら
れ、大正3～5年と昭和2

〜4年には大ブームを巻き
起こして投機の対象になる
など、伝統園芸植物のよう
に扱われました。

もともと花壇素材であっ
た外国産のゼラニウムは日
本に輸入された後、日本人
の価値観と美意識によって
アレンジが加えられ、オリ
ジナル化していきました。

然しながら、戦後は葉芸
よりも花を觀賞する品種群
に人気が移り、変わり葉ゼ
ラニウムは徐々に廃れ、現
在は極少数の個人愛好家及
び生産者が丈夫な品種のみ
を栽培している状況であ
り、消失の危機に瀕してい
ます。

島田先生は、この変わり
葉ゼラニウムを全国各地に
赴く丹念な調査と希少種の
収集・育成を通じて専門学
としてまとめられていま
す。広島市植物公園で毎年
3月から4月にかけて開催
される「ゼラニウム展」は
全国各地のゼラニウムファ
ンから聖地巡礼の地として
人気を集めています。島田
先生は日本の野生植物の1
／4が絶滅危惧種に選定さ
れる現在、貴重な植物を守
り後世に伝えていくことの
重要性を説かれました。

する樹種の歴史・変遷を学
ぶことが将来に繋がること
に改めて気づかされ、大変
内容の濃い講演会であった
と感じ入りました。

【総務会懇談会】
12時30分より総会会場
でコンテナ部会役員、担当理
事、協力会4社が参加して
懇談会が開催されました。

川村副部会長が司会を務
め、参加者全員が自己紹介
と事業の現況と今後の方向
性について報告・意見を述
べました。

部会からは①データセン
ター建設に伴う外構植栽な
ど明るい兆しがある一方、
価格競争は依然厳しい、②
長年の生産量減少から、設
計に対応した樹種の不足が
顕著である、③輸送料金の
値上げが続いている等の声
が寄せられました。

協力会各社の近況では、
大阪中緑化資材ではフィル
ムなど石油由来材料の値上
りが続いている中、部会員
からの要望を商品化に活か
したい、(有)グリーンサポー
トは夏の遮熱管理に生分解
性不織布ポットの活用が有
効である、大信産業(株)はダ
イリーク粒剤、スナップ
ショットの自社農薬に加え
、バイオスティミュラン

ト商品を紹介、(株)東海
化成は再生原料をもと
にした各種ポット生産
で価格維持に努力して
いることを説明されま
した。

以上13時30分に全
ての行事を終了し、解散
しました。

会 員 動 向

代表者変更

▷倉見苗圃(鳥取県)
新 倉見 昌成 旧 倉見 明人
▷愛知農園植木苗木(株)(愛知県)
新 氏永勝之 旧 氏永孝夫

担当者変更

▷(株)サンホープ(東京都) 新 黒田結子

訃 報

▷山田 クニ子 様(山田満治氏のご母堂様)
(株)山田園芸場(福岡県)
令和6年1月没 享年97歳
▷植島 末子 様(植島清春氏のご母堂様)
植島植木(株)(東京都)
令和6年1月29日没 享年97歳

お詫びと訂正 大変申し訳ございませんでした。

緑化通信2024年1月号の第502号において「歓迎」新年のご挨拶 中国・四国ブロック掲載の中で、高知県の紹介文章の支部長名を間違えてしまいました。大変失礼致しました。
正しくは、高知県支部長 山中正道 氏(東洋園芸食品(株)園芸部)です。



○委員会については、海外事業委員会は廃止。日本列島植木植物園運営委員会と記念樹贈呈事業委員会は広報普及委員会に合併し、広報研修委員会(仮)とする。緑育出前実行委員会の扱いは後日検討する。担当理事はその部会等に属している理事を優先的に依頼する。部会担当理事は、新樹種部

○荷札の印刷については、在庫が半年分しかなくなってきたので増刷が必要だが、協会HPのQRコードを掲載するか今後検討する。

○部会での事務局費用負担については、部会の代表者と理事会とのタイミングで4月頃には決定したい。

○新事務局長については、早急な採用を考えている。

令和6年度 第1回理事会を開催

12月14日(木)13時からマロウドイン赤坂(港区)において新旧理事13、監事2名及び事務局出席のもと辰巳副会長を議長に選出し、第1回理事会が開催された。議事の内容は次の通り。

○2027年国際園芸博覧会の近況については、AIクラスの博覧会に積極的に参加することが、協会の歴史として後世に伝える意義であると理解して欲しい。

○6団体振興会については、11月28日の6団体と国交省との意見交換会では、都市部の緑地を豊かにしていくという動きがあり、土地の緑地法人を設立したい計画もある。また、2024年の物流問題のトラックドライバー問題もあることを検討した。協会からの要望として、佐久会長からは道路樹木の需要と供給が負のスパイラルになっている点について改善を求めた。

○委員会については、海外事業委員会は廃止。日本列島植木植物園運営委員会と記念樹贈呈事業委員会は広報普及委員会に合併し、広報研修委員会(仮)とする。緑育出前実行委員会の扱いは後日検討する。担当理事はその部会等に属している理事を優先的に依頼する。部会担当理事は、新樹種部

○荷札の印刷については、在庫が半年分しかなくなってきたので増刷が必要だが、協会HPのQRコードを掲載するか今後検討する。

○部会での事務局費用負担については、部会の代表者と理事会とのタイミングで4月頃には決定したい。

○新事務局長については、早急な採用を考えている。

連載「西欧自然環境保全の旅」第5回

ニューフォレスト 南イングランドの里地里山保全

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授 上河原 献 二



◆プロフィール
1984年東北大学法学部卒業、環境庁入庁。
2013年より滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授として、環境法・環境政策を教える。現在は、侵略的外来生物管理法制度など自然保護法制度の国際比較を中心に研究。

南イングランドの港湾・工業都市サウサンプトンの西郊に、ニューフォレストと呼ばれる地域があります。緩やかな丘陵に淡い紫の花を付けたヒースの灌木が点在する草原と林が広がり、馬、牛が群れています(写真1, 2)。車の中から眺めていると、映画の中にいるような爽快感があります。西側にはエイボン川が流れています。Chalk stream(石灰岩河川)と呼ばれる種類の川で、流量の安定した清流です(写真3)。その氾濫原には湿地帯が広がっています(写真4)。

ニューフォレストは、イングランドを征服したノルマン公ウィリアムによって、11世紀に「新しく」王室の狩場に指定された場所です。中世では、Forest

は狩場を意味したそうです。現在は国立公園に指定されています。その半分は王室領(Crown land)で、日本の林野庁に当たるForest Englandが森林を管理しています。帆船時代には、その樫の材木がイギリスの艦隊の建造を支える重要な役割を果たしていたそうです。また、中世以来、地域住民(commoner)には、家畜の放牧などの入会権が認められてきました。そのための特別な法(The New Forest Act)も1877年に制定され、今でもその法律に基づいて入会権を管理する特別な法廷があります。

ニューフォレストの魅力は、人が木を伐り出し家畜が草原を維持して作り出してきた、イギリス版里地・里山なのです。なお、土地はやせていて、農作物生産には向いていません。そのことも独特の自然景観が維持されてきた背景のひとつです。

1950年代にイギリスで最初の国立公園が指定されたとき、ニューフォレストも検討対象でした。しかし伝統的な制度によって守られていくのが適当として、指定対象から外れました。その後、サウサンプトンなどから市街地が迫ってくるなかで、従来のような森林や入会地管理を中心とした体制では、ニューフォレストの個性的な自然を守れないことが明らかになりました。そこで、議論の末、国立公園に2005年に指定されました。その際も、地域の伝統を重んじる人々から反対が続いていたとのことです。

ニューフォレストはユニークな国立公園です。ピークディストリクトなど山岳型の国立公園とは違って、都市に近い、しかも、最高地点でも標高135メートルしかないならかな場所です。そして最も面積の小さな国立公園の一つです(面積567km²)。そこに3万4千人が住んでいて、イギリスで最も人口密度の高い国立



写真3 エイボン川(chalk streamの一つ)
(上河原撮影2016)



写真4 ブリアムア湿地
(上河原撮影 2016年)

公園となっています(数字は2011年時点)。
この地域では、自然保護団体ハンブシャー&ワイト島野生生物トラスト(HIWWT)が活発に活動しています。その役員の一人であるクリーブ・チャターズさん(Mr. Clive Chatters)は、ニューフォレスト国立公園を管理する委員会の国選委員を務めたご経験もお持ちです。ニューフォレストの西縁にあるブリアムア湿地(写真4)は貴重な植物種が豊富な場所ですが、そこに侵略的外来種オオバナミスキキンバイが侵入しているのを最初に見つけたのもチャターズさんでした。その後、政府からの依頼を受けて、HIWWTがその湿地の保全活動を行っています。民間団体の活動が、ニューフォレストをより魅力的にしています。この記事の2枚の写真の掲載についてChatters御夫妻にご協力いただきました。記して感謝します。



写真1 ヒースの混じる草原と馬
(Clive Chatters氏提供)



写真2 ヒースの混じる草原に牛と来訪者の車列
(Clive Chatters氏提供)

ルポ

シリーズ 社園さん紹介 No.20

(株)濱田樹苗園

広島県(広島市)



当日に居らした従業員さん

平和記念公園から徒歩40分程の都会のガーデンショップ「己斐ガーデンスクエア」。この売店を20年間営んでいる地元愛の強い社長の濱田秀蔵さんは、常に時代を読み10年先を見据えている経営手腕の持ち主。広島市の住宅街の中心にある都会的で洗練された「己斐ガーデンスクエア」を紹介します。



社長の濱田秀蔵さん



植物も樹木も多いお洒落な売店



駅から近い、都会のガーデニング店ですね。

濱田さん：「ここ、己斐（こい）という地域は、元々は植木を作る地域でした。浅野家が国替で広島入の際、殿様の娘さんがボタンの花が好きで、己斐の地域に植木の職人さん達を住ませた経緯から、昔から植物関係者が住んでいました。うちも昔は、この地で蚕の食べる桑苗を作っていましたし、周辺には切り花・植木を作る人、育てる人、その植木の庭師さん、盆栽屋さんと、植物関係の仕事の人が揃っていました。それが今や交通網が発展して、都市化した植木の生産地、関東の埼玉県川口市と同様の地域です」

今も売店以外に生産もしているのですか？

濱田さん：「私が小さい頃から山林苗を商っていて、郊外にも広い畑がありました。実は今年で生産は止めて売店をメインにするつもりです。公共工事を続けるには、常に人と資金繰りが必要です。跡継ぎ問題にしてもうちは娘が3人ですし、これを維持するのは難しいと判断しました。ですから後は、個人邸とマンション管理の植栽やメンテナンスが経営の中心となると考えています」

いつから売店を？

濱田さん：「自分が病気した20年前に、今後の事を考えて直ぐに売店を始めました。当時は街の緑化ブームが下降気味になり、“今度はきっと家庭の緑化だ！”と思いました」。…先見の明で園芸ブームを見込んで経営転換をされたのですね。

濱田さん：「その時に、売店の事を色々ご教授してもらったのが（株）清光園芸（岡山県）さんです。仕入れの植物は北海道から九州までですが、その土地、土地によって、作り方にも個性があるので協会の皆さんに色々教わりました。本当に感謝です」

他の売店とどう差別化を？

濱田さん：「植物の品質には自信を持っています。協会の皆さんから直にいい植木を仕入れられるので、花物だけでなく、樹木もここに来れば他にない良いものが置いてあるという差別化を図っているつもりです」

どのようにニーズを捉えているのですか？

濱田さん：「私は歳だから、若い人達の意見もきちんと聞くようにしています。週に1度、2時間半程掛けて従業員と売店を雑談交えて回ります。ニーズや現場の意見を聞きながらコミュニケーションを取ることは大事だと思っています。向こうは“また来たな”って思っているでしょうがね（笑）。

例えば、私はオリーブの木は、オリーブ由来の枝葉が横に広がったものを好みますが、若い人や造園の人はスラっとしたものを好まれることが多いです。会社としては、従業員さんを抱え、経営もしていかなくてはいけないので、仕入れでは、自分の好みばかり主張してはダメだと心得ています（笑）。

今後の経営方向は？

濱田さん：「正直、悩んでいます。売店で飽きられたら終わりですし、一般家庭の庭は木を植えるスペースもないです。もし経営があかんとした時には、いつ

でも撤退できる様に段取りを考えています。でも、植木協会には情報が沢山詰まっています。その情報をちゃんと読み取っている人は先駆けてオーグープランツ系を作っていますし、逆に頑固な人は頑固おやじとして、美しい、いいものを作り続けています。それも個性でいいと思います」

売店の全てを切り盛りする店長の清原さんに色々お聞きしました。

入社されてどのぐらいですか？

清原さん：「私はこの園芸店がオープンして2年目に入社し、22年経ちました」

商品の仕入れ等は？

清原さん：「商品のスペックは高い方がいいですから、良い生産者さんから直接購入するものもあります。特に草花は植木や観葉植物と違って鮮度が大事です。」…鮮度って言葉は野菜や魚に使用する言葉だと思っていました。

“専門知識のある清原さんに相談してみよう！”と来店されるお客様は多そうですね？

清原さん：「有難くそういう方もいらっしゃる。この植物のことで解らなかつたら、あのスタッフの居るその店に行ってみようと思われる事は大事だと思います。また、きれいな商品を作って供給してくださる生産者さん達や管理しているスタッフや周りの方に感謝しています」



清原靖弘さん

売店のパートさんの対応などは？

清原さん：「パートさんと言っても、お客さんの対応や植物のスキルも必要です。結局は植物が好きな人が集まっています。「好きこそ物の上手なれ」です。よくお客様に“花で癒されていいですね？”と言われるのですが、夏は暑く冬は寒いので、売店の華やかな見た目とは違えます。皆頑張ってくれています」

趣味とかありますか？

清原さん：「本当は多趣味で、特にスポーツや旅行が好きですが、実際、遠出は難しいので平和記念公園の近くの桜を見たり、各植物の時期に朝寄り道して出勤しています」。…忙しいながらも四季を感じる時間は大切ですね。また毎週末には平和記念公園で平和を祈っているそう…お人柄が出ているなぁと思いました。



今回の取材は、副会長の辰巳広之さんも同行してインタビューしてくれました。どうもありがとうございました。

売店のセンスがいいですし、レイアウトも素晴らしいです。

瀬川さん：「商品のレイアウトは一辺倒にならないよう見せ方にも変化をつけ、お客様が手に取り易いように常に考えています。寄せ植えのアレンジや植物と鉢の組み合わせ方など、お客様の参考にして頂ければと思っています。私は植物マニアで、皆から変態扱いされています（隣の原さんが首を縦に振っていました（笑））。小さい頃から植物好きで、現在に至ります」



もうすぐ17年目の瀬川さん

仕事している上で嬉しかったことは？

瀬川さん：「先日、帰り際に若いカップルが、“こんなにいいお店が近くにあるんだから、僕たちがちょこちょこ来店することがお店や地域の応援に繋がるんだよね！”と雑談していたことに感激しました！」…それはやりがいに繋がりますね。

毎日のお仕事はどのように？



原さん

原さん：「僕は売店の植木担当です。農業系の学校から就職しました。普段は、植木の配達、剪定、水やり、値段付けや、依頼があれば庭先に木を植えたり、アフターフォローもします。植えた時に、お客様から“いいね”と言われると嬉しいです。配達時に遠回りして、以前に植えた木を見ては“よしよし良く育っている”なんて一人で喜んでます」…皆さん植物が好きなんですね。



帰りがけに濱田さんから頂いた宮島の“あなごめし弁当”は、最高に美味しかったです。ご馳走様でした。



学校紹介

地域産業の発展に貢献できる生徒育成

沖縄県立北部農林高等学校 林業緑地科

はじめに、ユネスコの世

界自然遺産に登録された

「やんばる」という大自然

に囲まれた沖縄本島北部の

名護市に沖縄県立北部農林

高等学校は位置し、今年で

76年の歴史を数えます。現

在は、全日制課程熱帯農業

科、園芸工学科、林業緑地

科、生活科学科、食品科学

科の5学科と定時制課程農

業科の学科があり、食を支

え、探究するスペシャリス

トの育成に努めておりま

す。

(1) 基礎的・基本的な教育

を重視し、進路を主体的

に選択できる能力と態度

を育てる。

(2) すべての活動で、最後

までやりぬく生徒の育成

を目指し、協力、協調の

精神を培う。

(3) 人間尊重の教育を礎と

して、基本的生活習慣の

確立と心豊かな人間の育

成に努める。

(4) 社会の変化や科学技術

の進歩に主体的に対応で

きる能力と態度の育成に

努める。

(5) 緊急時に冷静かつ的確

な対応がとれる教育の充

実に努める。

2 林業緑地科の概要

昭和21年1月28日、沖縄

県立北部農林高等学校とし

て開校。平成2年4

月1日、林業科を「林

業緑地科」へ改編。

平成23年4月1日、

「みどり環境コー

ス」「みどり創造コ

ース」「みどり名産

コース」へコース名変

更。

「みどりの環境コー

ス」の目標は、みど

りの保護・育成と利

用に必要な知識と技

術を習得させ環境保

全に従事する者とし

て必要な能力と態度

を育てる。「みどり

創造コース」の目標

は、自然環境と人間

生活及び環境緑地に

関する知識と技術を

習得させ、みどりの創

造に従事する者とし

て必要な能力と態

度を育てる。

3 特色ある教育活動の取

組み

(1) 県外研修旅行

本学科では、特色ある学

科づくり、教育の一環とし

て研修旅行を実施してい

ます。今年で15回目を迎え

ます。この研修旅行では、日

頃の学習がどのように地域

や環境で活かされているか

を知り、視野を広げること

を目的として

行っています。

(2) 民話「樹木

の剪定技術講

習会」

本学科では、

科目「造園技

術」の学習指導

の一環として地

域で活躍されて

いる方々を講師

としてお招きし



箱根 寄木細工工場



東京 小石川後楽園



松の剪定技術指導



草刈り隊



玉掛け技能講習



模型 赤土流出の仕組み



共同学習



タビックススタジアム名護



3級造園技能検定

強化を図り、地域が
一体となった持続的
な赤土流出防止対策
の普及・啓蒙に寄与
することを目的とし
て行っています。

(4) 特別支援学校と
の交流会
科目「植物バイ
オ」の学習指導の一
環として、近隣の名護特別
支援学校と今年で2回目の
交流会になります。キノコ
栽培を通して共同で学習を
行いました。コミュニケー
ション能力、社会性の育成
を図り、主体性を身につけ
させることを目的として
行っています。

(5) 校外学習「名護市の公
園管理見学」
本学科の科目「総合実
習」の学習指導の一環とし

て、芝管理実習があり地域
社会で共通する仕事がある
ことを見聞させることが目
的として行っています。

写真は本校近くにあるタ
ビックススタジアム名護トラ
グビー場の公園管理につい
て関係職員から詳しく話を
聞きました。春のキャンパ
(日ハムファイターズ)時
の芝生の手入れ事情など普
段、聞けないことも聞けま
した。

(6) 地域との交流「山城茶
復興活動」
県内唯一の在来種のお茶
を「山城茶」を復活させよう
と、本学科生徒でお茶畑の
手入れ及び山城茶の茶葉を
使った商品開発に乗り出す
ことになりました。

4 その他
本学科では、資格取得に
取り組んでいます。

5 まとめ
本学科の生徒の特徴とし
て卒業後の進路は3割が進
学(大学・専門学校)、7
割が就職(建設系・その
他)となっております。そ
のことから特色ある学習指
導において、民間企業およ
び地域との連携が大きな役
割を果たしていると考えて
おります。結びに本校で
は「北農の目指す生徒像」
は「北農の目指す生徒像」
令和2年に制定。その中に
「地域産業の発展に貢献で
きる生徒」を育むと示され
ております。私たちはその
理念のもと地域に根ざした
学校づくりに取り組みま
す。

も力を入れて
おり、車両系
建設機械講
習、小形移動
式クレーン講
習、玉掛け技
能講習、3級
造園技能検
定、日本農業
技術検定な

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

② アズマイチゲ

小岩井農牧(株) (岩手県)

たろ さわ だし

足澤 匡

「アズマイチゲ *Anemone raddeana*」は、キンポウゲ科イチリンソ
ウ属の多年草です。「スプリング エフェメラル」とも呼ばれますが、
落葉樹林内に自生し、春先に花を咲かせ、その後周囲の木々が開葉(か
いよう)し、林床に光が届かなくなる夏には地上部が枯れ、翌春まで
は地中の地下茎で過ごします。他に、カタクリ、フクジュソウ、エン
レイソウなどがありますが、春にだけ出現しますので、「春植物」「春
の妖精」とも呼ばれています。春の光に輝くように、華やかな花が多
い中で、どこか儚げで、「妖精」という呼び名がしっくりきます。

本種の近種である「イチリンソウ *A. nikoensis*」は、草丈は20～30cmあり、本種とは全くイメージが異な
りますが、「キクザキイチゲ *A. pseudo-altaica*」と本種は、一見すると見間違えてしまうほど、似ています。
見分けるポイントは葉の形です。

「キクザキイチゲ」は、しっかりと、細かく、鋭く切れ込みますが、「アズマイチゲ」は、幅が広く楕円
形に見え、元気がなく葉が下に垂れています。思わず支えてあげたくなるような、弱々しい感じがします。
そんな儚げなイメージがスケッチを通して伝えられたら幸いです。

ちなみに、「アズマイチゲ」は、漢字で「東一華」と書き、「東(あずま)」の意味である東日本で発見され
た「イチゲ(一華)」別名「イチリンソウ(一輪草)」ですが、その後、西日本にも自生していることが判明
したそうです。現在では、北海道～九州に自生があります。でもなぜか「アズマイチゲ」の名前はそのまま
変更することはなかったようです。そのような例は植物名ではたくさんあります。いや、たくさんではない
かも知れませんが・・・、植物名の由来を調べていると結構あります。面白いですね。

いろいろと書きましたが、植物に対する興味は尽きませんね。だから、楽しいです。



連載「多肉・珍奇植物」

第6回 全身が真紅の球体、 誰もが魅了されるヒボタン

東京都市大学環境学部教授 飯 島 健太郎



◆プロフィール

東京都市大学環境学部教授。桐蔭横浜大学工学部専任講師、同医工学部准教授を経て現職。博士（農学）。日本造園学会賞／研究論文部門受賞、東京農業大学造園大賞受賞。著書：『新しい都市緑化・ガーデニング材料／多肉植物』（ソフトサイエンス社）、『サボテン大好き』（講談社）、『多肉植物の名前400がよくわかる図鑑』（主婦と生活社）、『サボテン全書』（監修、グラフィック社）、『多肉植物全書』（監修、グラフィック社）など。

「ヒボタン」すなわち「緋牡丹」である。鮮やかな紅色なので花と間違われるが、サボテンの球体そのものである。レッドヘッドカクタス（Red Head Cactus）とも呼ばれ、強烈な色彩とコケシのようなフォルムは古くからガーデンセンターやデパートの園芸・サボテンコーナーで常に目立っていた。しかしその存在は珍奇であって、自然界には存在しない。ヒボタン（*Gymnocalycium mihanovichii* var. *friedrichii* cv. Hibotan）は、サボテン科ギムノカリキウム属のボタンギョク（*Gymnocalycium friedrichii*）の斑入種である。その誕生は、原産地の南米パラグアイではなく、何と日本であった。

一般的な植物において花や果実などに赤色を示す場合はアントシアニンという色素の存在によることが多いが、ある種のサボテンはベタシアニンという赤い色素を多くもっている。サボテンでは通常は果実にこの色素が含まれているが、なかには株の表皮にまで含まれている種類がある。ギムノカリキウム属の「ボタンギョク」という種類はその代表である。このサボテンは表皮に含まれるベタシアニンの赤色とクロロフィルの緑色が交じり合うことによって黒色に近い赤紫色をしているが、何らかの突然変異でクロロフィルがつかられない部分が出来ると、そこが真っ赤になる。サボテン趣味とともに、特にギムノカリキウム属の斑入種が大流行した昭和15年頃からサボテンの生産農家「紅波園」の園主である渡辺英次氏が、赤斑のボタンギョクを求めて品種の作出に着手した。実生を繰り返し、わずかながら赤斑を有する苗を見つけては接ぎ木や摘心、きざみ接ぎを進める中で、やがて球体全体が赤色に輝く「ヒボタン」が誕生した。最初の実生から実に10年の歳月を費やしたという。このヒボタンは葉緑素を持たないために必ず接ぎ木によって栽培する。今日では、そのほかに全身黄色、ピンクなどさまざまな色



ヒボタン・シリーズ



ヒボタン・アレンジ

彩の品種が登場している（写真）。

作出当初は大変なニュースとなり、渡辺氏への買い付けも殺到したという。相当に高価であって、当時分譲された接ぎ木から間もない数センチサイズでも1本数千円から数万円もしたという。昭和25年、日本シャボテン協会発行のシャボテン斑物銘鑑には新登録品として緋牡丹が紹介されており、「美しい緋色一色にて實に美麗なり色彩は誠に外人の讃辞如く生けるルビーである」との解説も付されている（写真）。なお全斑の仔吹きも盛んであり、それらを再び接ぎ木すれば、サボテン生産農家にとって増殖もさほど難しいことではなかった。市場に一定の流通を見ることになると、いわゆる当時の古典園芸趣味的なサボテン愛好家からはブームとして過ぎ去る存在となっていく。その後、園芸店からも姿が少なくなりつつあり国内需要の低下を機に、ヒボタンは欧米を中心とした輸出向けの商材として、1960年代にはそれまで以上に盛んに生産されていた。その頃国内ではわずかな流通とともに、寄せ植え材料のシンボルに活用される傾向が見られたが、品質のよい顔の揃ったものが輸出用に仕分けされ、残りが国内用に回された経緯もあるのか、やや品質の悪いものが出回っていたといっよい。そうしたブームは盛衰を繰り返すものである。やがてその生産も国内から東南アジアに移り、現地のブームと合わせてより大型で多数の品種を伴って第二次ブームのような普及も見られた。かつて問題となった接ぎ木作業に伴うウイルス感染の予防対策として無菌の台木の普及とともに、より丈夫で大きく成長したものもしばしば見られるようになった。しかしよく見ると、いつ頃からか冒頭に述べたボタンギョクの形質でない稜が幅広くイボ状になっているもの、白花のものなどがあり、後発でギムノカリキウム属内の種間交配種による全斑物がヒボタンと称して流通していることが指摘されている。ここは分類の厳密性よりも、わが国で誕生した品種、すなわちヒボタン・シリーズとして大切に維持されることを願うものである。

色彩、フォルムなど存在感のある緋牡丹だが、日本で作出された珍奇なキセロフィルとして、風格ある鉢や寄せ植えによって部屋の一角を演出してもよい。



シャボテン斑物銘鑑、昭和25年日本シャボテン協会発行（筆者所蔵）



キボタン（黄牡丹）



ヒボタン（緋牡丹）



ピンクボタン（ピンク牡丹）



タンチョウ（丹頂）

書籍のご紹介

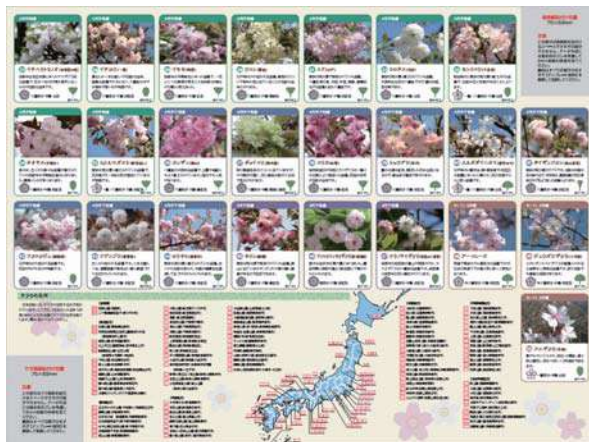
（一社）日本植木協会新樹種部会と千葉大学・（一社）花葉会とのコラボレーションによる花と木の最新緑化素材図鑑が発刊されました。申込書は別途同封しております。



コンテナ部会 「ぱっと見ガイド_桜図鑑」 販売中

もうすぐ桜の季節です。コンテナ部会ではミウラ折り「ぱっと見ガイド」シリーズ第2弾の「ぱっと見ガイド_桜図鑑」を発売しております。税抜き600円です。

桜50種類を厳選し、樹形・花形・開花時期など交えて分かりやすく紹介しています。全国104ヵ所の桜名所も掲載。コンパクトに折りたたむことのできるミウラ折りの特徴を生かした「ぱっと見ガイド_桜図鑑」を是非、販売促進ツールとして活用していただけますよう、よろしくお願いいたします。



令和5年度 緑育出前授業実施11回 参加者1,013名程 平成21年度からの累計187回／16,222名程

2023/1/26 福岡県支部 小郡市立立石小学校 5年生



植木生産業の成り立ち、植木生産技術の発展と生産方法、植物と環境等について、田中常緑園さんの圃場に説明した。普段から登下校中に目にしている植木畑のことでも、知らないことが多くあったようで、生徒の皆さんが目をキラキラさせながら我々の話を聞いてくれたのが印象的でした。最後に時間が足りないほど多くの質問があり、植木のことに興味をもってもらえて良かったと思いました。

2023/7/7 大阪府支部
大阪市立東三国小学校 3年生



緑育出前授業と記念樹贈呈事業とセットで実施した。学校より依頼され、校庭に植木を子ども達と一緒に植えた。子どもたちが樹木に触れ、親しみ、緑を育てる大切さを知ってもらい、緑と共に生きる豊かな心を育てたかった。子どもたちが木に触れて植木を植えることで地球温暖化の緩和に貢献していることを伝えた。

2023/11/6 鹿児島県支部
出水市西出水小学校 3年生



1限目 座学として環境や環境問題に対する興味や関心を、緑育を通し高め、樹木・植物・みどりが地球環境に与える役割を3年生が理解できる範囲でスライドを用い教えた。2限目はフィールドワークとして、校庭にある樹木とふれあい、葉っぱや樹皮の違い、匂いなどを体感し、樹木の大切さや違いなどを観察・体感してもらった。みどりや樹木に興味をもってもらえたようだ。

2023/11/15 福岡県支部 小郡市立立石小学校 5年生



植木生産業の成り立ち、小郡市の植木生産業の歴史、植木生産技術の発展と生産方法の説明、植物と環境に関すること、植物の豆知識、緑育パズルを実施しました。立石小学校の総合学習の一環として地域の産業である植木生産のことを学んでいただきました。今回は実際に掘り取り・出荷状況・積み込みまでを見てもらうことができたので、良かったと思います。生徒さんも事前学習をして来ているので、かなり踏み込んだ質問が出ました。

2023/1/30 大分県支部
杵築市立豊洋小学校 3、4年生



奈多海岸において抵抗性クロマツ苗木の植え付け方を小学生に教え、一緒に植えた。海岸林の重要性(防災・塩害など)について、クロマツについて(菌根菌・マツノザイセンチュウ病など)の説明をし、海岸保全活動を実施した。海岸の松林の役割や、植物の重要性などのお話と緑についてのクイズをして、児童の皆さんが楽しめるように活動しました。今後も苗木を植えることの大切さや、環境問題に関心を持てるように努めます。

2023/2/1 大分県支部
杵築市立護江小学校 1～6年生



杵築市住吉浜の住吉神社において抵抗性クロマツ苗木の植林を行いました。護江小学校と護江保育園の年長さんと海岸林の保全活動を行いました。海岸林の重要性(防災・塩害など)についての緑育出前授業を行い、クロマツについて(菌根菌・マツノザイセンチュウ病など)の説明をした。植物とその地域の歴史を織り交ぜたクイズも実施した。護江小学校での緑育は初めてでしたが、先生方や理解を得ながら来年も開催できるように努めていきたいと思っています。

2023/7/26 三重県支部 学童Dream station



まず、最初に緑育パンフレット2組を使用して、植物や木が地球を守るために大切な役割を果たしていることを説明し、その後、花の寄せ植え体験を実施。児童は好きな植物を選んで寄せ植え体験した。苗を植えて毎日水やりをして植物は育てるということを学んでもらった。

2023/10/26～29
緑育出前実行委員会・青年部会全国幹事・
青年部会東日本ブロック
日比谷公園ガーデニングショーにて
ミニ寄せ植え盆栽のワークショップを実施



寄せ植え体験は、1000円で75名が参加。今回は協会のグンゼグリーンさんから毎日2、3名の方がご協力。緑化啓発として、実際75名の方に体験してもらった。体験には、2、30分程時間を掛け、寄せ植え体験をしながら育て方、緑の大切さ、協会のPRを行った。寄せ植えには、苗木(イロハモミジ、シラカシ、マツ)、鉢20種類程度を用意し、色々な石を好みで選び作成していった。選んだ苗の特徴や育て方などを記載したシオリを渡した。「365日の誕生日の木」大勢の方に紹介できた。

①2023/11/9 愛知県支部 尾張旭市立東栄小学校
②2023/11/16 愛知県支部 尾張旭市立本地原小学校



来年度開催の県の緑樹祭で使用する配布用苗木ムクゲの挿し木を実施。挿し木を管理育てることで、植木を身近に感じて欲しかった。樹木に触れることを生徒たちは楽しんでくれたので、将来の緑化が必要と考える一助になれば嬉しく思う。樹木に触れて楽しんでもらえ、予想以上に興味を持っていただけだった。

2023/11/26 福岡県支部青年部会
Let's Go アンビフェスタ(小郡市)



緑育体験キットを使用して8人×4回＝32個。アンビフェスタ小郡で、一般来場者を対象に、緑育キットを使った寄せ植え、漢字パズルを行い、それに対してパンフレット等の配布を行った。コロナでしばらくの間対面開催はできませんでしたが、今回約3年ぶりの会場開催となりました。来場いただいた方には多くの関心を寄せて頂き、多くの親子連れの方や子供たちに、興味を持って頂く事が出来ました。緑育体験キットも大変好評で、多くの方に喜ばれ大盛況で終わることが出来ました。アンビフェスタに初めてスタッフとして参加した会員も一生懸命に対応し、多くの来場者に触れ合う事が出来、今後の仕事の意欲に繋げる事が出来ました。